

区民と区長の対話集会
「さとことブレスト」(第3回)

令和4年11月10日(木)

杉並区都市整備部 都市計画道路担当

◆第3回 さとことブレスト

開催場所：令和4年11月10日（木） 午後4時～午後6時30分
場所：西荻地域区民センター（勤労福祉会館）第一、第二集会室
参加対象者：西荻窪駅周辺にお住まいの方（60歳以上中心）
参加者人数：17名（応募者：19名）

◆事前企画 補助132号線（北銀座通り）を実際に歩こう！

さとことブレスト前に、みんなで実際の道路を歩いて、事前に話題を共有することで、ブレストの時間を充実させる目的で実施。

JR西荻窪駅北口から会場である西荻地区区民センターまで歩きました。

参加者人数：8名

◆ブレインストーミング

1班5人ずつA班からD班の4班に分かれて、前半と後半の二段階に分けてブレスト形式（※）により実施。

区長は各班を前半後半1回ずつ回りながらブレストに参加。

○前半は、次の3点の内容を中心にブレスト

- ①まちづくりの関心事はどこにあるか
- ②道路について、どうあると良いか
- ③今後のまちづくりや道路整備の進め方

○アイスブレイク

日本や海外で最近行われている人中心のまちづくり・道路づくりの事例紹介。

- ・まちづくり・道づくりの最近の動向
- ・関連法規・制度
- ・全国の事例

○後半は、西荻窪のまちづくりと関連付けた道に関する、自由な考え・アイデアについてブレスト。

○ブレスト終了後、班ごとに発表。

○全体での意見交換

※ブレスト：ブレインストーミングの略。あるテーマについて数人で自由なアイデアを出し合う会議の方法です。

各班の発表内容

■ A班

- ・道路の課題は、歩道を広く、ゆっくり歩けるようにすること。目的がなく来てもくつろげるスペースがあると良い。
- ・道路を一車線にして、あまり車が行き来しないように、車のスピードが出ないようにする。歩くところを広くして、ゆったりとしたまちを作りたい。
- ・一方通行だった道を無理に複合道路にすると、すごく危ないことが多い。電柱の問題等々もあると思うが、撤去するとか、地下に入れるとか。利便性を考えた中で、こちらは一方通行など配置の問題を考えれば非常に良くなる。

■ B班

- ・西荻らしさが欲しい。映画館も昔は3軒あったが今は1軒もない。商店街も駅前から色々な商店があった。できればコンパクトな、まとまったまちづくりをしてほしい。
- ・道路が凸凹。お年寄りには歩きにくいといった意見が出た。歩道で立ち止まって会話ができたり、ゆっくりと商店の方に買い物ができるのを希望する。今は歩道が狭い。

■ C班

- ・まちづくりに関しては、杉並区の基本方針が実現すると良い街になるという前向きな意見が挙がった。
- ・計画から実現までの時間が長すぎるため、不安になってしまうことが多い。
- ・杉並区と区民では情報量が違う。
- ・西荻の良さを残したまちづくりを目指してほしい。
- ・自転車の規制やルール作りが必要なのではないか。
- ・公園を多くしてほしい等の意見も挙がった。
- ・車中心の考え方を変えた方が良いのではという意見が挙がった。
- ・西荻の改札を西友側に作ればよいのではないかという意見が挙がった。
- ・無電柱化に伴い、トランスが設置されるが、トランスを低くすればベンチになるのではないか。実現すると面白いのではないか。
- ・いろんな世代の声を聴くべきである。

■ D班

- ・駅の周りは、人が安心してコミュニケーションを取れる場所、人が優先の場所になってほしい。駅の周りに車や自転車になるべく入らないようなデザインのまちづくりをしたほうがいいのか。道路を広げることに賛成の意見もあったが、駅の周りについてはそういう話になった。自転車が駅の周りに来ないように、駅を中心は人が集える場所、その周辺に小さな駐輪場をい

くつも作るのはいかがでしょうか。自転車置き場の作り方やお金を取るかなどは課題があるが、まずは実験的な試みをしたら面白いのではないかと。

- ・未来を考えると、車はどんどん減っていくから緑や人に優しい町になったらいい。お年寄りや子ども、女性が安心して過ごせる町になってほしい。
- ・道路族という、子どもが道路で遊ぶと迷惑だ、とネット上にクレームシマッピングできるサイトがあり、排除の目で道路を見ている人がいる。道路はみんなの場所だということをまちづくりの視点に入れたい。

■その他、全体を通しての意見等

- ・マンションのモデルルームのような、モデルロードを作ってもらい実際に見てもらったら良いのではないかと。
- ・西荻というのは地域生活拠点と位置付けられている。荻窪というのは、都市生活拠点と位置付けられている。地域生活拠点と都市生活拠点の違いは何なのか。
- ・道路を通りにくくする、もしくは車両進入禁止にする。そこの空いたスペースは自然と公園みたいに子供の遊び場になるのではないかと意見が出た。しかし、それは車との兼ね合いがある。バルセロナは区画整理がきちっとできているため、車の進入禁止等も整理できている。このことから、西荻の北側は区画整理ができているため、実現可能ではないかと感じた。
- ・朝夕のバスの利用が多いため、バス事業者を交えて交通をどうするかを考えてほしい。
- ・物流関係の方々の意見も取り入れてほしい。
- ・駅から200m周辺まで禁煙となっているが、それ以外は歩行禁煙という扱いになっている。喫煙者は脇道に入って喫煙を始めてポイ捨てる。そういうところの見直しも必要なのではないか。
- ・今の西荻らしさは愛されているまちであること。道路が拡がると資産価値が上がり、家賃が上がってしまう。そうすると今までいた小さな個人商店を営んでいる方々が入れないため、地主としては何とかしたいところである。
- ・愛情のあるまちは掃除や管理が行き届いている。
- ・今後の工程やビジョンを示してほしい。

岸本区長の発言内容（プレストを終えて）

- ・お集まりの皆様へのお礼。
- ・今までのプレストや皆さんのエネルギーが、その先につながっていくようなプロセスでありたい。
- ・第1回目、2回目で共通だったのは「西荻らしさ」であり、中心的なテーマだった。みんなに愛されている、西荻らしさを守りたいという。
- ・私はいつも「人と自転車中心のまち」という考え方をしていた。今日は関東バスさんが区役所にいらして、その中に武蔵野市のコミュニティバス「ムーバス」をはじめて作った方がおり、その方が言うには、自転車に乗るのは元気な方が多いので、吉祥寺では自転車は少し離れたところに置いてもらっている。交通弱者の方は、バスやタクシーで来られるから駅の周辺は歩く人中心、交通弱者中心としているということだった。なぜ自転車と歩行者が対立しなければならないのか？気候変動を考えたら両方とも重要と思っていた。今日のお話を聞いても駅前をどうするか、自転車をどうするかを一緒に考えてはいけない、というのが気づきだった。先ほどの公務と皆さんとの話し合いの中で学んだことの一つ。
- ・「西荻らしさ」と関係するが、いろいろな商店に散歩したり、買い物したりと、人が滞留するまちを考えると、止まったり、食べたり、飲んだりするので、自転車を別に考えたほうが良いのかとも思った。
- ・2つの班で出た話題がリンクしていたのが、ウォークブルの話で132号線のビジョンが見えないという意見があった。こういう道ができる、というのが見えてこないとみんなが納得できないのではないかと。一方で認可が下りたところがあって、その先に駅があって、さらにその先に曲がる場所があるが、そこまでは知らないという方もいらっしやって、計画の終点まで全部入れて考えないとダメではないかと。
- ・駅周辺は今やっているエリアよりもっと大変なのではないかという話題も出ていた。
- ・全体像がどうなるのか見えない中で、道路を作りましょう、作りたくない、という議論をするのが難しいのではないかと。
- ・これらが今日皆さんとの中で気づかせてもらったことである。

(ブレインストーミングで出たご意見)

・杉並区で色々やられると思うが、区だけでやっているように思えて、我々一般市民はわからない。

・道路予定地に人が入らないように針金や杭が張ってあって、危ない。子供たちが入るとどうなるか。安全上問題だ。

・西荻は庶民的なところが気に入っているが、タバコのポイ捨てとかマナーが良くない。歩きタバコや自転車に乗りながら吸っている者もいる。マナーを守りにくい雰囲気なのかもしれない。

・お店がだんだんなくなってきてしまった。

・自転車は最低限のルールを守れるような道になると良い。

・西荻はのんびりしていて、いい町で、みどりも多く、公園があつてよい。「みどりの杉並」と謳っている。それと道路との整合性をどう考えるか。ある人にとっては、道路は有効だと思うし、住んでいる人にとっては、良好な環境が求められると思う。外環道などどっちが優先されるのかということもある。道路ができれば良好な環境を求めて住んでいる人が減る。「悪貨は良貨を駆逐する」じゃないが、良好な環境を作ることが、結果的に税金も増えて、人も集まって、良好な環境につながってくるのではないかと思う。

・気持ちよく、安全に歩ける道。年を取ってくると後ろからプープーやられてしまう。

・西荻の道路を広げるという話であれば、歩道を広げてほしい。歩きづらい。人が気持ちよく歩ける道路になれば。目的がなく来てもくつろげる場所があればよい。途中で休憩したりとか。高齢化社会にもなっているのだから。

・どこまでも行けるように広く真っすぐな道とすべきだ。日本はこういう道が少ない。

・歩道があつて2車線、3車線の道があるほうが良い。これを近くの人がどう思っているか。

・西荻は凄くこぢんまりしていて、静かで、住みやすいと思つて40年近く住んでいる。しかし、道路の狭さや一方通行の道をバスが通り、店の前に駐車している車など、歩きにくい。自転車道路などもあれば。拡張は昭和20年代から出ていて、所々広がっている。

・西荻だけではなく、荻窪の衛生病院の方、中に入っていく道で二台すれ違いできない。一方通行の道幅の定義はどうなっているのか。

・あっちこっちに一方通行の道があると不便ではないか。

・(住んでいる人にとってはどこが一方通行か) 知っているので問題ない。

・一方通行の規制はどこがやるのか。区か警察か。

・一方通行にすればよい。お金がかからない。

・収用にお金がかかるはず。税金で賄えるのか。目の不自由な方にやさしい道や、バリアフリー

にするなどやってみてはどうか。それを最初にやれば良い。

- ・杉並区は一方通行が多いが、整備されているほうだと思う。足立区や葛飾区など他の区ではそうでもない。
- ・広い道路ができればそのこと自体はありがたい。そこまで行くのに何年かかるか。
- ・一方通行を変えるだけなら簡単。

・どこかでやらないと事故が起こる。多摩川の洪水がそうで、10何軒が反対して、(越水が)二回起きた。何か起きてからでは遅い。事故が起きてから騒ぐ。

・一点豪華主義で500m やるとして、どのくらいお金がかかるのか。ウッドデッキを置いたりとかは、見た目はすごくいいけれども。それよりもソフト面などすぐできるようなことを確実にやっていただきたい。少子高齢化でお金も色々かかる。

- ・姫路は歩いたことがあるが、歩きやすくて非常に良かった。
- ・たとえ何百mでもよいので、例えば駅から最初の信号まできれいにしてみる。
- ・昔からの人は、道は細くても良い、という人も多い

・できるところで社会実験的にやってみる。

- ・道路の一部をやるよりは、青梅街道までをやらないと意味がない。
- ・昭和23年ころから拡張の話があり、許可が出て少しは動きがあった。
- ・見込みはどのくらいか。50年か。見込みがないということは、個々の立ち退きの問題だから法律を変えないと。区でできること、都でできること、国とやらないといけないことを整理して。今できるものはこういうものだから提案を出してほしい。

・神戸の地震は家がなくなったから拡張された。

- ・区が動けないのではなく、区が動かない。動けば利便性もついてくる。
- ・立ち退きの方にどう受け入れられるか。住んでいる方に見れば大問題で死活問題。
- ・コストがどのくらいかかるかわからないと周辺の人が賛成できない。

・住んでいる人も結局負担になる。一人当たりいくらなのか。

- ・出ていくということは、代わりのもを見つけないといけない。利害関係が出てしまう。
- ・地元でずっと商売やっている人はお得意さんが離れてしまうというネックがある。赤字になったら困る。一般に住んでいる人とは違う。いっぺんに全部やるのはできない。手法が下手。

・いくつかテーマがある中でそこに道路がある中で、はっきりしていないと。どういう話だったのかということを出しておかないと。

・結局5年、6年待っても補償金は上がらない。ゴネ得はない。ただ退いてくれと言われて退くわけがない。

・道路で高齢者が休めるとか、ベンチがいるとか、それはわかるけど、日本の国土の中で緊急性とか自分たちに係るものだったらどうしようもないということになる。美観とかそういうものについて緊急性があれば退かなきゃいけない。救急車が信号無視したって良いんだから。「美観、美観」と言っただけその人たちの生活に緊急性がない。

・西荻の町の道路は狭いから、そこを直そうとしたら…
・許可は出ているわけで、一部買われている。残りの土地は、行政の方はどう思っているのか。

・こういうものができる、というのをみなさんに見せて、具体的なものがないと。私たちが参考にできるものを見せてほしい。

・安心して通れる道。今の道は広いところもあるが、狭いところが広がると、皆さんにとっては暮らしいところになるかと。

・ここだけが良くなって、他の大部分がそのままというのでは。

・空いているところにコンクリートを打って工事を始めてしまえばいい。道幅決まっているのであれば道路として造ってしまえばいい。

・駅から歩いてくると左側の方が広がる。右側の方は関係ない。こっちの歩道が狭くて、こっちが広い、だと住民から不満が出るのでは。

・車道は広くしないで欲しい。

・外環道と結んでいるから、想定以上に車の量が多くなると思う。

・立ち退きは本当に難しい。環八ではお寺が反対していて、退いてくれたからようやく開通した。

・立ち退いてもらうのは駐車場作ってあるところがいい。4～5台止められる、ああいう駐車場はどんどん退いてもらえばいい。家が建っているより駐車場の方が簡単だと思う。

・駅に向かうにつれて難しい問題になる。

・(今の道の) 交通量が多いのか。車の量は。

・一方通行を整備してもらいたい。

・ゆっくり歩ければよい。

・この道の目的は何か。目的がわかればどんな道にしたいか意見も出るだろう。

・これは素晴らしいが、現実を少し直してもらわないと…

・我々よりももっと若い方の意見もあれば。今はゆとりもないからただ歩いているだけ。

・16mの道路が計画されていることがわからなかった。いろいろやっていることを広報して欲しい。

・やっていることを区が大々的に出してほしい。

・こういう話がここまでなっている、という話が40年近く住んでいるが知らなかった。

・区長はこういうことには賛成なのか。

・歩道の幅がマチマチ。妻は歩道を走る自転車を憎んでいる。交通整備がうまくいくように変わるなら良い。目抜き通りは電柱の地中化をしてほしい。

・西荻窪は荻窪でも吉祥寺でもない独特な良さがあるので残してもらいたい。ただ、自転車が多し道が狭いので、話し合っていければと思う。

・西荻窪は荻窪より栄えていた。今は残念ながら活性化が抜けた。商売をしている方も続かないのが現状。活性のあるまちづくりをしなくてはならない。尚且つただっ広く活性化するのではなくコンパクトに繋がりがあのようなまちづくりにしたい。

・ただ都市計画道路として売買するのではなく、今の計画が必要なのかどうかを改めて話したい。行政の立場から行くと事業が始まったものはなかなか止まらない。都市計画道路廃止には11のチェック項目があり、1つでも該当すると計画は止まらない。例えば延焼性の問題や主要交通機関へのアクセスなど。それらを東京都へどう突き返すか。ハードルが高い。

・計画廃止が可能なように盛り上げておいて結局ダメというのはイヤ。

・都市計画法第53条の兼ね合いで、西荻は建物の高低差が生じた街並みになるのでは。

・凸凹や溝があって歩きにくい道路が多い。歩きやすくなるよう舗装してほしい。

・バスが狭い道路に入ってきて困る。広いところに走行ルートを変更してほしい。

・自転車が危ないところは駅の近く。幅が細いし人も多い。自転車専用もない。

・車道は車が来て怖い。

・歩道を走る電動自転車はスピードもあり危ない。

・自転車が車道を走るのが怖いというのは分かるが基本的には車道を走らなければいけない。なぜ歩道にずっといるかというところを行ったり来たりが簡単にできないからだと思う。

・縁石、ガードレールなどで歩道に入れないから、最初から歩道を走りたくなる気持ちも分かる。

・高円寺の南口の道路（両側マンションで無味乾燥）を目指していると聞いた。そのようになると寂しい。防火の関係でただ拡幅するだけでなく、自転車や歩行者も共存できるようなまちづくりがあるはず。

・今は建てるに建てられないため元気がない。

・お店の種類も少なくなった。生活に即した店が増えてほしい。歩道は自転車が走っても危なくないようにしてほしい。止まって立ち話ができるような空間。車道は狭いなら歩道を少し削り荷捌き場として活用すればよい。渋谷の公園通りのように。道路が狭くて車を停めたら危ないといったアプローチをするのがよいのでは。

・緑地帯も無理に大きくする必要はないのでは。木を作れば涼しくなるというのも違う。舗装そのものが熱を吸収するようなものも多い。

・最初から拡幅後道路両側マンションのようなイメージ等を持たれているから反発意見が出ているのでは。交通量が増えるわけではないと思う。車線が増えるわけではないから。

・昼間に保母さんが園児を連れて歩いているが、危なそうな場面を見る。自動車や歩行者が共存できるように。

・気候変動による自然災害の激甚化が課題となり、脱炭素社会、気候変動適応社会、自然適応社会、自然共生社会、循環型社会を包括する持続可能で強靱なクリーンな社会の実現に向かっているが、今回は道路についての質問が続くので、道路の位置づけとまちづくりを考えると、道路は都市計画の骨格であり、ネットワークの中心であるとコンパクトシティを目指す。

・道路機能は、交通機能（通行、アクセス、滞留）と空間機能（防災、収容）、市街地形成機能などが考えられる。今回道路幅員の拡幅により防災機能、また交通機能のうち荷下ろし場等のスペースを考えると通行にもスムーズな流れが想定される。またカーボンニュートラルを進めるため徒歩や自転車の活用も求められるが、現状狭い歩道を、歩行者を押し除けるように大きな自転車が通り過ぎ、歩行者が注意して歩くことが起きている。歩行者の滞留を推進するためにも歩行者、自転車の区分けは必要と思われる。

・一極集中都市を避けるため都市機能の分散を進める動きがある。コロナ以降リモートワーク、テレビ会議等により働き方に変化が生まれ、二地域住居など生活スタイルの変化に対応するため通信環境の整備を行い大都市の人口集中を緩和するまちづくりが必要。道路整備については、人口の動態調査を視野に入れ必要な道路の整備をふるい分ける必要がある。特に長い間、都市計画道路として未整備の区間についてはメリハリをつけた事業展開が求められる。

・どこかの真似ではなく西荻らしい道路が良い。道路ができた時に取り上げられるような感じが良い。

・事例のようにベンチを置き皆で集まってお茶をするなどはスペース的に厳しいのでは。若い人にやってもらえれば活力が出るのでは。

・吉祥寺は間口が大きく賃料も高いため、西荻窪で店をやりたいとの話をよく聞く。

・西荻南口の方は活気がある。

・拡幅対象路線はどうなるか分からないとのことで、別のところに店を移動させるなどしているため活気がない。やるなら早くやってほしい。

・歩きやすい環境になれば人も多くなると思う。

・車の退避スペースがない。渋谷の公園通りはある。

・ベンチに腰をかけるお年寄りがいて、その前を通る子どもなどといった平和な光景が今はない。

・去年は南口にクリスマスツリーがあり、そこにボックスみたいなものがあったらどうやら座れるスペースだったがわからなかった。やり方次第、もったいない。

- ・座りたくなるような場所作りが必要。
- ・道路上に緑化せずに壁面や屋上などに緑を。渋谷のパルコのような。
- ・高円寺は街路樹がなく、つまらない。
- ・椅子のスペースに屋根を付ける。雨宿りもできる。バス停の屋根レベルが良い。
- ・高円寺のようになってほしくない。
- ・モニュメントで特色があれば一目で西荻と分かるのでは。
- ・歩いていて楽しくワクワクするようなまちが良い。今はそれが無い。ぜひ実現してもらいたい。
- ・高架下がごちゃごちゃして汚い。阿佐ヶ谷は良くなった。あれができるなら西荻でもやっ
てほしい。
- ・西荻で歩きやすいところはない。
- ・物理的な障壁より心理的に自動車等のスピードが出ないようにしてほしい。
- ・昔ながらの店がなくなり、つまらないまちになっている。長年都市計画道路の規制がかかった
状態で塩漬けだったため、活性化のために何かしようにもできなかった。そのため何かできる機
会を逸してしまったのではないかと感じる。道路を広げるなら早く広げた方が良く思う。
- ・仮に歩道にしてしまうとのことだったら、バスが通れるような代替の道路も必要かもしれない。
- ・幹線道路沿いに住んでいるため、まちづくりの関心事といえば、交通と居住の関係である。(自
動車と居住者の関係)
- ・五日市街道も拡幅の予定はあり、マンションもセットバックされてはいるが、中途半端な状態
になっている。20年前からの話である。
- ・計画から実現までの時間かかりすぎている。
- ・計画から実現までスムーズにいった事例はあるのですが、身近ではあまり聞かない。
- ・計画から実現までの期間と住民への影響そういうものが関心事になった。
- ・買い物で西荻に行った際は、「立ち会えません」というシールが貼ってあるのを見ると、揉めて
いるのだなと感じる。計画から実現までの期間が空いているというのは、色んな意味で影響を受
けるのだなと感じている。
- ・渋滞しているのがストレスである。
- ・自転車の影響が大きいのではないかと感じる。歩行者からすると自転車が怖いものになってきている。
- ・計画から実現までの期間をどうやって短くするかを考える必要がある。
- ・公園は計画から実現まで期間が短いように感じる。同じようなことを道路ではできないので、
そこは課題であると感じる。
- ・仕事上、お客様から道路に関する問合せが多い。高齢のお客様が一番心配しているのは、「私が
生きている間にどうなるか」ということである。見通しの立たないものについて、お客様に答えよ

うがない。

- ・計画実施の目処を示してほしい。
- ・他区では公園施設が充実して綺麗な公園があるのに、杉並区はそのような場所が少ない。孫から指摘される。
- ・自転車専用レーンも作ればよいというわけではないと思う。作るなら自転車の規制が必要である。ただ作って終わりというのは良くない。
- ・西荻の街はゆったりとしたイメージがある。アド街でも紹介された。
- ・西荻の良さを残しつつまちづくりを実現してほしい。
- ・道路は広いに越したことはないが限界がある。
- ・住民のための優しい道路であるべきである。
- ・ゴールが不明確なので工程を示してほしい。段階を分けた工程を示しても良いと思う。
- ・杉並区の基本方針を見たが、基本方針に記載していることが実現したら、東京の区で一番進んだ区になる。
- ・具体的なスケジュールとイメージを区民に伝えるべきである。
- ・基本的にこの道路計画については賛成である。
- ・10年、20年それ以上先（将来）を見据えたまちづくりにしてほしい。
- ・スケジュール感や完成後のビジュアルが確認できない。区民に具体的な内容をアピールしてほしい。
- ・70年以上計画がおざなりになっている。
- ・売ると、大概はマンションになってしまう。そうなるとお店がなくなる。そこは問題点だと思う。
- ・まちが更新されることは良いことではあると思うが、家賃が高くなる。今まであった個人商店がなくなるのは寂しい。しかし、まちは更新していかなければならないので、そういうところをどうするかが関心事であり問題点でもある。
- ・区民が持っている情報量と、行政が持っている情報量はかなりの違いがある。
- ・強制的に計画を進めるとまちに愛着が持てなくなる。きれいなまちができたのに誰も通らないまちになる。愛着のないまちは汚れていく一方である。
- ・きれいな緑多き公園があると良い。
- ・松庵小学校の裏の公園に関しては計画から実現までスムーズにいつて杉並区に関心・評価した。防災公園になっていて機能も良い。
- ・計画が実現すれば近隣の資産価値が上がると思う。
- ・歩道の広さ・車道の広さは決まっていると思うが、南口と北口で拡幅する延長が異なることに疑問を抱く。

・ 今後はガソリン自動車ではなく、電気自動車がほとんどになると思う。電気自転車・電動キックボード等そういうモビリティも含め、車道・自転車走行道・歩道に対する考え方はどうなのか。

・ 街路樹に関して、現状落葉樹が多い。今後、どの街路樹を選定するのか。気候や清掃の面も考慮して選定してほしい。

・ 西荻の下道はちぐはぐである。アーケードのある所やない所・植樹がされている所とされていない所・(道路) 右側と左側で違う。それは商店街がいっぱいあるからである。商店街を統合するべきではないか。

・ 賛成・反対はあるが、行政と区民で情報量が違うので判断がつかない。

・ 視覚障がい者の方が使用できるスペースなどをどう分配するかを考えないといけない。

・ 青梅街道から計画が決定したところに関しては、道路収用が始まっているので、ここはもう止まらないと思う。だとすると、どうやったら良いものができるかということに視点を切り変えていかなければいけないと思う。例えば、今後橋の架け換えがある際に、道路の拡幅部分だけではなくて、区の方で多めに(土地を)買ってもらって、そのスペースに川に降りられるような施設ができたり、商業用の車が置ける駐車場を作って駅まで荷物を運んでもらったりすることで、歩行者が歩きやすい道になるのではないかと考えている。このような様々な提案がこういう場の中で確立されて区長の目に留まれば嬉しい。

・ バスをマイクロバス(すぎ丸)に切り替えるのはどうか。

・ (JRの問題ではあるが)西荻の改札が一つしかないため、西友側に一つ作ってほしい。

・ 西荻の駅前に緑やベンチを設置してほしい。

・ これからまちを作っていくうえで、いろんな世代の声を聴くことが重要である。

・ もったいないスペースが多い。もっと有効活用できるのではないか。

・ 飲み屋街は残したい気持ちはある。

・ 西荻から離れたところに面白い店ができ始めている。

・ 西荻らしさを残したまちづくりを目指してほしい。

・ お年寄りの休む場所がない。

・ 今後、無電柱化が進むと、トランスが所々に設置されると思うが、それをベンチにするのはどうか。

・ 中央線の下(高架下)を自転車ロードにするのはどうか。

・ すぎナビで道路計画等が公開されているが、行政側はもっと宣伝するべきである。

・ 計画から実行まで時間がかかりすぎている。20年経って実現できないなら見直しや中止をするべきではないか。

・ 行政はもっと情報をオープンにするべきである。

・ 通す道、通さない道の整理が必要ではないか。

・ 車中心という考え方を変えなければいけないのではないか。

・ 共存、共栄。それぞれの立場でそれぞれが少しずつ譲歩しながら、杉並区って住みやすい、働きやすい、商売しやすい、老人も若い人もいいなと思う町にしたい。それには道路の問題として、

自転車でスピードを出していく人も、前や後ろに子どもを乗せて走る人も、どちらも車道の端を走るのはどうかと思う。西荻の拡張の計画があるのだったら車道は車道、自転車は自転車と、歩道で色を変えるなどして、歩行者は歩行者と分ける。二酸化炭素を吸収してくれる街路樹を植えるのも大切。街路樹のところだけ凹んで、そこに駐輪してしまう人がいる。街路樹を植えたらその下は植栽にってしまった方が綺麗だし、草花を楽しめていいのではないかな。電柱も間のスペースに入れられればと思う。

- ・震災時の滞留車対策会議をやっているが、駅に何台も車が止まった場合、昼間なら割と簡単だが、停電した場合に車を連れてくるのは難しい。街路灯の上にソーラー発電機をつける計画をやっているが、バッテリーを付けて停電時にも点けばいいと思っている。公衆電話ももう1台増やしたい。

- ・狭あい道路の対策で、武蔵野市に私道を市に寄付したいと住人30人の賛成を得たのに、受け付けてくれなかった。杉並区もそういう状態のようだ。

- ・子どもを産んで、昼に町にいと、子どもやお年寄りがたくさんいることに気づいた。そういう人が一番歩きやすく住みやすい町になればいいと思う。遠くへ行くときは自転車だが、駅前基本的にはベビーカーを押して歩きだ。吉祥寺は車と自転車を駅前から外に出して人が中心になっている。駅前に座るベンチがあって、飲食ができる。西荻もそうになってほしいが、場所がなくて、公園もない。道は車のためではなくて、人のためにあるべき。

- ・拡幅には賛成。昔とは違うのだから、拡幅するのは当たり前。道路を拡幅して、自転車に車道を走るように厳しく取り締まるべき。今は歩道を走る自転車が目の不自由な人と接触しそうで危険。放置自転車を撤去する係はいるが、自転車に対して道のルールを指導する人がもっといてもいい。

- ・放置自転車は昔に比べるとだいぶ減った。駐輪場も増えた。でも足りないぐらいだ。
- ・車道、歩道、自転車道を分ける。
- ・地中化した電柱を、事故があった時に直せる人がいるのか。
- ・町の中心と外を意味分けすることによって、町の中心に自転車が入って来られないようにする。
- ・確か墨田区は自転車税の話もあったが、計画倒れになった。票争いなど、政治的理由だと思う。
- ・街路灯では歩けるが、一本裏の道は暗いので明るくしてほしい。

- ・今から意見を出しても、できるのは街路灯や植栽のことに限られるだろうか。
- ・計画がはっきりしないと、暮らしの目途が立たない。
- ・こういう話し合いを、十何年前、測量が始まる前にやってほしかった。あのときは説明会で意見を聞くだけで、話し合いはなかった。今回このような話し合いの機会があってよかった。決まっているからこれしかない、ではなくて出来る範囲で変えていけるのなら変えていきたい。

・今回の計画からは外れるが、補助道路自体は南口に行って神明通りにぶつかったところでクラックしている。当時良かれと思ってやったことが裏目に出た。議論の余地がある。

・地権者ではなくても、お年寄り、子ども、住んでいる方に聞いてほしい。まちづくりの未来を考えると車は減っていく。ただ通過するだけの車や自転車は来ないで、別の道を通ってほしい。自分も狭い道は自転車で通らないようにしている。一本ずらせばいい。人が優先。車や自転車が入って来ないような町のデザインにする。駐輪場もなるべく外側にする。バスだけは仕方ないが、すぎ丸くらいの大きさにして、台数を増やす。車と自転車が来ないようにすればいいという考え方に、道路を広げるといのは理屈に合わない。東京ガスもなくなり災害用という根拠も崩れたのにやるのはなぜか。

・柳小路という飲み屋街は火事になったときに、中央線の高架を超えて北口まで火の粉が飛んできた。ある程度、防災道路が必要だ。柳小路があるから道幅が 20 メートルになっているのかなという感じがする。

・防災もいろいろな技術がある。道路だけでなく、防火、耐火の建築などがあるので合わせて考えたい。

・駅に高いビルが建ってビル風がすごい。お年寄りなど歩行者が危ない。道路を広げて高いビルを建てていったらどんどん住みづらくなるのではないか。

・人とのコミュニティがあった方がいい。
・拡幅で車道だけが広がるというイメージをなくした方がいい。道路を広げるというより、公共空間を広げるというイメージ。

・今までの日本は車道優先に進めてきたので、歩道が狭い。自転車、歩行者、ぶつからない方がおかしい。拡幅するのならバランスよくやった方がいい。ただ、地方と違うから西荻には無理ということもあるが出来るところはやっていきたい。丸の内は、歩行者優先で、今は歩行者天国状態。試しに時間帯で歩行者天国をやってみた結果そうなった。西荻も社会実験をやってみる。商店街を大事に、人を大事にしたい。

・昔はサンロードにバスが通っていたが、一本別の道ができたので、バスが来なくなった。
・駅から東京女子大に行く道は、細くて危ない。駐車車両がいると通れない。その先の四軒寺に行く道、都道 133 号線は、歩道があるかないかぐらいで、電信柱の横は傘を斜めにしないと通れない。車道に出てすれ違わなければならない。広げているが、時間がかかっている。

・商店街としては、自転車が来てほしい。商圈が広がる。商店街の裏に区で小さな駐輪場を作ったらいい。足りないなら公園の端に増やしたらいい。そうすれば商店の人たちとうまく共存できるのではないか。

・自転車を追い出すというのは、駅の前に人が来るために自転車が来ると危ないという意味で、外側に停めるところがあちこちあってほしい。空き地ができていたので、そこを駐輪場にするとか、緑地にするとか利用して、商店街で楽しめるようにしてほしい。

・ベンチを作ってほしい。坂なので、休憩したい。立ち話ではなく座って話したい。コミュニケーションを取る場所がなくて困っている。公共の道路や、空いた場所に作ってほしい。

・区道は、区で作ってもらえるのでは。

・統計を取ると、車は少なくなったが、大型化している。大型化している個人の車もある。高齢化と共にリハビリの車などに対応する課題もある。介護の送り迎えの車が裏路地に増えている。すれ違えないような道でも入っている。

・バスもすぎ丸くらいがいいが、一度に輸送できる人数が減ると台数を増やさなければならず、運転手を増やさなければならない。道路を広げるお金があるのならその人件費等に使ってほしい。

・町の周辺に小さい駐輪場があれば、駅前に人が集まる。お店の前に停めるのではなく、お店の裏の空き地や公園の一部に停める場所があれば。管理は、駐車違反を取り締まる方の仕事を拡大する。今は駐車違反も少なくなったので、区と連帯してできるのではないか。

・吉祥寺には、2時間無料の駐輪場がある。西友の駐輪場とかではなく、きちんとした場所を作る。最初は無料で試みるのもよいのでは。

・通勤に使っているから困る。駐輪場の絶対数が少ない。商店街のためと通勤と分ければいい。

・2車線はほしい。お祭りのお神輿のときに必要。

・逆に歩行者天国で車禁止にすればいい。

・南口の朝一は、バスが通らないからいい。

・令和19年までにできるのですか。商売をやっている方はその先の不安がある。

・阿佐ヶ谷六丁目の先の中杉通りの北の部分は道を広げてよかった。バスが一方通行だったのが広がったので便利になった。

・歩道を増やしてほしい。

・アーケードは消火活動の邪魔になるので禁止の方向がいい。

・雨の時は助かる。防火を考えたアーケードを考えればいいのでは。

・アーケードが高いと逆に雨が入る。

・商店街で街灯は商店街でやっていると初めて知った。道路の街路灯より明るいので、街並みの景観のために照度を落とさず、明るくしてほしい。

・子どもや女性のためにも街灯は明るく安全にしてほしい。

・時間帯で照度を落としてもいい。夜11時、12時以降は暗くするなど。

- ・昔は子どもが道路で遊べたが、今は遊べない。「道路族」という道路で遊んでいる子どもへのクレームをするサイトがあり、怖くて遊ばせてもらえない。児童館など公共の場所で安全な場所がほしい。
- ・子どもは世の宝。子どものための居場所を作るべき。
- ・外国人の働き手に頼ってはいけない。

以上